

大幡小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日 時 平成 23 年 9 月 10 日（土） 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分
- 2 場 所 大幡公民館
- 3 参加者 65 人
- 4 会議の概要

○質疑応答

（1）便利で機能的なまち

市民

ゆうゆうバス（市内循環バス）のことでお問い合わせがあります。大幡地区は熊谷市の中心にあって民間のバス網は発達していますが、ゆうゆうバスが通っていません。この地区は大変広いので、ゆうゆうバスが通ってれば、何かと便利になると思います。

例えば、別府荘へ行くのにも市役所からゆうゆうバスに乗れば 50 分くらいで行けます。帰りにもちょうど良い時間のバスがあります。しかし、民間のバスを利用して市役所まで行き、そこでゆうゆうバスに乗換えるというのは大変です。

予算の関係などもあるとは思いますが、高齢者の交通手段として、是非ゆうゆうバスが大幡地区の中を通るように、増発やルートの変更を御検討いただければありがたく思います。

市長

大幡地区にゆうゆうバスを走らせるのは、正直に申し上げまして難しいところがございます。それは、民間のバス路線と競合する路線免許を取得するのは、非常に難しくなっているからです。

大幡地区を走る民間のバス路線には、国道 407 号線のバイパスを走る路線と、県道太田熊谷線を走る路線のほか、新島方面から石原地区を通過して熊谷駅に至る路線があつて、本数も結構な数があります。路線免許がもらえるようにと民間のバス路線と競合しないような無理なルートでゆうゆうバスを走らせても、利用者の皆さんにとっては非常に不便なルートになってしまうと思います。

10 月 1 日から江南地区を回る新しいルートを設定しましたが、基本的に民間の路線バスが通っていないルートになっています。

※ ゆうゆうバスの路線図は下記のホームページで御覧いただけます。

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/sogo/kikaku/koutu/yuuyubasu.html>

市民

ハートフル・ミーティングで配布される資料についての提案です。ほとん

どの出席者は前もってファックスや電話で参加の申込みをしているわけですから、事前に資料を配っておけば、当日の説明も理解がしやすいと思います。

市長

このことにつきましては、郵送をするのも大変ですから、どのような方法が良いのか研究をしたいと思います。

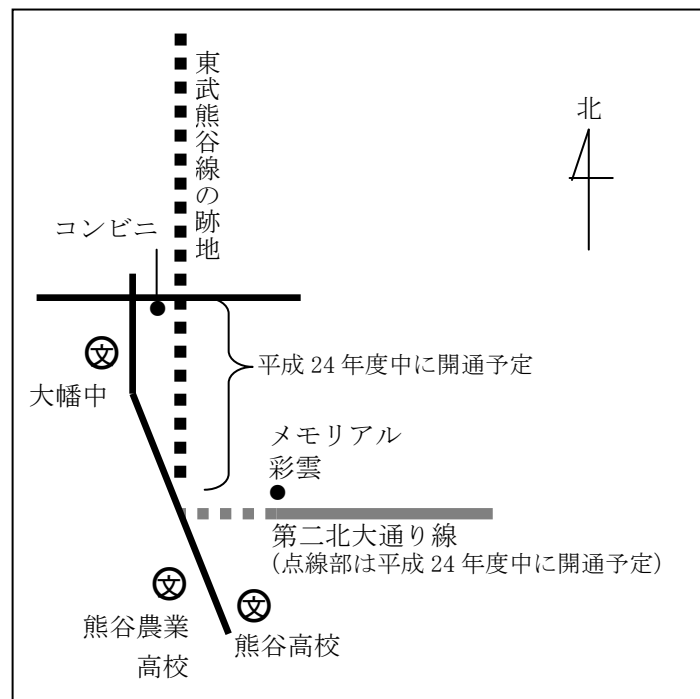
市民

東武熊谷線跡地の道路整備が進められているということですが、いつ完成するのでしょうか。

市長

道路は一部分だけ造っても、他の道路とつながらないと十分な効果が得られませんので、「第2北大通り線」という道路につながるように整備をする予定です。

今、第2北大通り線はメモリアル彩雲の少し南の所にまで延びていますが、この道路を熊谷高校と熊谷農業高校の間を通る道路にぶつかる所まで西に延ばします。



この道路が出来上がるのに合わせて、東武熊谷線の跡地も整備をします。具体的には、大幡中学校の近くにコンビニがありますが、そこから第2北大通り線とぶつかる所のすぐ近くまでを平成24年度中に整備する予定です。

最終的に東武熊谷線の跡地はずっと北の奈良小学校のすぐ近くまで整備をしますし、第2北大通り線も国道407号線にぶつかる所まで整備をしますが、いずれもある程度の時間がかかるものと思っています。

市民

東武熊谷線の跡地の一部が平成24年度中に整備をされるということになりました。しかし、この跡地の歩道部分は今既に学生たちが通学などで利用しています。夜間は真っ暗で非常に危険なので、所々に照明を設置していただけないでしょうか。

市長

道路を整備するときには、警察を含めたいろいろな所と協議をします。そのときに「暗いと危ないので照明を付けてください」というやり取りも行われます。実際に道路の使用が始まるまでには照明を含めた安全対策を行いたいと考えています。

市民

道路が使えるようになってからではなくて、今どうにかならないでしょうか。現に学生などが利用していますし、時々不審者も出るので危険です。

市長

申し訳ありませんが、現時点では難しいでしょう。まして、先程お話をさせていただいた所よりも北では、まだ道路の本体部分に手を着ける予定が立っていませんから、工事の手戻りを防ぐためにも難しいと考えています。

市民

道路整備のことでお聞きします。第 2 北大通り線ができるという話を初めて聞いたのは、私がまだ若い頃でしたから、もう何十年も前のことです。大幡地区は中心市街地に近く、昔に比べると人口も建物も増えましたし、市の内外からたくさんの自動車が行き交う場所ですから、道路が非常に混雑しています。用地買収など難しい問題はいろいろあると思いますが、難しいからこそ努力をしていただいて、一日も早く第 2 北大通り線を完成させていただきますようお願いいたします。この道路が完成して、西は国道 407 号、東は国道 17 号線まで抜けることができるようになれば、熊谷市の道路事情は大きく改善されて、大変住みやすくなると思います。

また、現在、東武熊谷線跡地の道路整備も進められていますが、この道路が整備されると、良い道だからとスピードを出して通る車が増えると思います。この道路の東側にはたくさんの住宅がありますが、そこに住む人たちが道路の西側にある小学校や中学校などに行くためには、この道を越えていかなければなりません。そうなると、交通事故が増えることも予想されます。大幡地区の住民が事故の犠牲になることがないように、安全の確保には慎重を期していただけるようにと強く要望いたします。

市長

第 2 北大通り線と東武熊谷線跡地の整備は長い間の懸案事項でしたが、道路整備には多額の費用がかかりますので、財政状況等を考えると、なかなか取り掛かることができませんでした。しかし、市民の皆さんにいろいろと御不便をおかけしながらも、行財政改革を進める中で何とか回せるお金が用意できましたので、一部の区間ではありますが、平成 24 年度中に供用を開始し

たいと思っているところです。先程もお話をしましたが、最終的には第 2 北大通り線を国道 407 号線まで、東武熊谷線の跡地も奈良小学校のすぐ近くまで整備をしますが、少しずつでも着実に進めていきたいと考えています。

ただ、今おっしゃられたように、地元の皆さんにとっては幹線道路ができることで交通事故が増えるのではないかと心配になる部分もおありだろうと思います。しかし、警察と協議をして安全対策を施した上でなければ道路の使用は開始できません。必ずしも満足のいくものではないかもしれませんが、信号機の設置も含めた安全対策を進めたいと考えています。

市民

大幡公民館は空いている日がないぐらいに多くの方が利用していますが、随分と老朽化が進んでいます。この会場にある黒板も大変傷んでいて使用できないほどです。もう少しこの公民館にも手を入れていただければありがたいと思います。立派な公民館がある地域もあるのに、大幡だけ手を抜かれているような気がしています。

市長

決して手を抜いているようなことはありません。この前も外壁を修理したり、屋根を塗り直したりしています。また、少し前（平成 18 年度）には事務所とトイレの改修を一千万円以上かけて行うなど、しっかりと手をかけていますので、御心配なさらないでください。

市民

私たちの団地では集会所を造りたいという希望があります。その場合に農地を買うことはできるのでしょうか。

市長

まず、自治会が土地を取得するためには、地縁団体としての申請をしていただいて、自治会を法人化する必要があります。そうすると、自治会名義で土地を買ったり登記をしたりといった契約行為ができるようになります。

実際に下奈良の四方寺コミュニティーホールは自治会名義で登記がしてありますし、最近では集会所の移転に伴って地縁団体の認可を受け、土地と建物を自治会名義で登記した例が妻沼でもあります。

また、農地でも買える場合がありますが、あくまでも「買える場合がある」ということで御注意をいただきたいと思います。農地に青地と白地という種類があることは農家の方なら御存知だと思いますが、青地は特に農業に適した土地という意味ですから、そこに集会所を建てることは難しいでしょう。また、白地でも 1 種や 2 種といった区分けがあり、それに基づく規制もあり

ます。ですから、集会所を建てたいという候補地があれば、事前に農業委員会事務局に相談をしていただいて、農地転用ができるかどうかを確認していただきたいと思います。

また、集会所を建設するときには補助金の関係などもありますから、担当とよく相談をしながら進めていただくとよいと思います。

(2) 熊谷市立女子高校の跡地利用について

市民

市立女子高校の跡地が「※（仮称）スポーツ・文化村」として整備されると聞き、涙が出るほどうれしく感じています。昭和38年に開校されて以来のたくさんの卒業生や保護者が喜んでいることと思います。これから市長さんを始め、行政の方々には一生懸命に頑張ってください、熊谷市民として誇りを持てるような素晴らしい施設にしてほしいと願っています。

※（仮称）スポーツ・文化村：旧市立女子高校の跡地と施設を生涯学習と教育、スポーツの場として整備をする予定です。平成23年4月に構想案を策定し、平成25年度の一部オープンに向け、調査設計作業を進めているところです。

市長

「（仮称）スポーツ・文化村」の整備を進めるに当たって、市立女子高校の歴史は残していかなければならないと考えています。現在、その資料は桜木町にある市立図書館に保存をしていますが、「（仮称）スポーツ・文化村」の中にも「市女メモリアル・ルーム」という部屋を設けて、これまでの記録を展示することにしていきます。

いずれにしても、市立女子高校の跡地は生涯学習やスポーツの場として、市民の皆さんが楽しんで使っていただけるような施設に再生をしたいと考えています。

市民

子どもが入っているソフトボールのチームは旧市立女子高校のグラウンドを練習場所にしていました。しかし、3月18日からは（東日本大震災で被災した方の避難所とするために）使えなくなり、市立女子高校に置いていた荷物も全て保護者が持ち帰らなくてはなりません。代わりに荒川緑地で練習をすることにしましたが、1か月前の予約が必要で、代表者が毎週緑化センターに予約を取りに行かなくてはなりません。子どもたちも「また市立女子高校で練習ができるようになるのだろうか」と不安に思っていました。避難所が閉鎖されて8月からは使えるようになりましたが、大人たちの都合で子どもたちの練習場所を取り上げるようになっていたことを市の職員

の方は御存知だったのでしょうか。これから「(仮称)スポーツ・文化村」の整備をしていただくこと自体はありがたいのですが、工事中にグラウンドを使わせていただくことはできるのでしょうか。

市長

工事に支障が出たり、入口が工事のために危険であったりというような場合には利用を御遠慮していただくこともあるでしょうが、差し障りがない範囲では御利用いただいてよいと思っています。

市民

使えない場合は、どこか代替のグラウンドを貸していただくことはできるのですか。小学校のグラウンドは既に他の団体でいっぱいですし、前に使っていた場所はもう練習できる状態ではありません。そうすると、練習をするのに、また荒川緑地の予約を取りに行かなくてはいけないということですか。

市長

申し訳ありませんが、行政の立場からは特定のチームにだけ便宜を図ることはできません。これまで旧市立女子高校のグラウンドを御利用いただくことができたのは、あくまでも適当な場所があったからということで、それがなくなったときには学校を含めた地域の中で練習場所をやりくりしていただくこととなります。それは他のチームも同じであろうと思います。

市民

旧市立女子高校を避難所にして、東日本大震災の被災者を一時受け入れていたと伺っています。今後また大規模な地震などが起きた場合に、旧市立女子高校を防災の拠点や避難場所にしたり、物資の備蓄場所にしたりする計画はありますか。

市長

今、防災計画の見直しをしているところですが、旧市立女子高校には浴室や食堂のほかに群咲(むらさき)会館という宿泊施設がありますし、今後セミナーハウスも宿泊ができるように整備する予定です。これまでの経緯や避難所として求められる機能を考えると、災害時に旧市立女子高校を使用する可能性はあると思います。

市民

旧市立女子高校の西側を走る道路は車の通りが多くて、事故もあります。1メートルほど幅を広げることにはできないのでしょうか。

市長

拡幅が可能な部分については考えたいと思いますが、建物等があって広げ

られない場所もあると思います。

市民

学校側のブロック塀を取り壊せば、1メートルでも2メートルでも広げられるのではないのでしょうか。

市長

取り壊した後には同等の規模以上の塀を造り直さなければなりません。そうなると相当な予算が必要になりますから、費用対効果を考える必要があります。そういったことも含めて全体的に考えていきたいと思います。

市民

また、先程も話に出た旧市立女子高校のグラウンドは、いつも使われずに空いていてもったいないと思います。正門から入るのが不都合であれば、裏門を開けて土日だけでも開放することはできないのでしょうか。

市長

避難所として使用していた間は使えませんでした。8月からは利用の受付を再開しています。

市民

旧市立女子高校のこととは関係ありませんが、素晴らしいニュースがありますのでお伝えさせてください。

9月19日の敬老の日に行われる敬老会の司会進行を大幡中学校の生徒会の皆さんが務めてくれることになりました。今までは敬老会と言っても、私たち高齢者が自分たちで準備をしてきました。今回のように若い方たちが高齢者を呼んでもてなしてくれるのは、これぞ敬老の日の真髄とでも言うべきあり方で、本当にうれしいことです。できればこういった取組が熊谷市全体に広がっていくとよいと思います。

市長

子どもたちが地域の中でしっかりと仕事をして、その存在感を示しているのは、非常に素晴らしいことだと思います。そういったことがあればこそ地域の皆さんも小学校や中学校のために何かしてあげようという気持ちになるわけですから、今のお話のように相互に理解をし合えるということは本当に素晴らしいことです。大幡地区の敬老会には出席をさせていただく予定です。楽しみにしています。

市民

大幡地区全体を見回してみると、まずは宅地ができて、後から道路や下水道が追いかけるような形で整備をされてきたように思います。特に新島地区

は早くから開発をされてきましたので、そういった傾向が強いように感じて
います。

是非、大幡地区の道路と下水道の整備を早急に進めていただきますように
お願いいたします。

市長

私も小さいときからこの地域を見てきましたが、人口もずっと右肩上がり
に増えてきましたし、昭和 58 年には大原中学校から分かれて大幡中学校がで
きました。当時は勢いがあって良かったのですが、今になって見返すと、人
口の増加に公共投資が追いつかず、ちぐはぐになっていた部分があるよう
にも感じます。

このことについては自治会の皆さんからもいろいろと要望を頂いておりま
すので、市としても順次、一生懸命に整備を進めていきたいと思っています。

○市長のまとめ

今日は大勢の皆さんにお出かけをいただきまして、本当にありがとうございました。
いろいろな御意見を頂戴することができ、大変ありがたく思っております。

最初のテーマの「便利で機能的なまち」では、第 2 北大通り線や東武熊谷線
跡地の早期整備が地域の皆さんの悲願であることを改めて認識いたしました。
今後、より一層力を入れて進めてまいります。

二番目のテーマの「熊谷市立女子高校の跡地利用」につきましても、少しづ
つではありますが着実に整備を進めてまいります。やはり、あれだけの広大な
面積と大きな建物がありますので、予算も相当にかかります。また、別に整備
を進めております※熊谷西環状線が、旧市立女子高校に隣接する拡張用地の南側
を通るようになりますので、それに合わせたタイミングで整備をしなければな
らない所もあります。ですから、ある程度の時間が必要になりますことも御理
解いただければありがたいと思っております。また、工事期間中は御近所で御
迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、お許しをいただきますようお願い
いたします。

※ 熊谷西環状線：国道 17 号線の新島北交差点から北東方向へ向かい、国道 407 号線の大幡
歩道橋（熊谷市消防本部の少し北）のある交差点につながる道路が県道として整備される
予定です。下記のホームページで簡単な地図を御覧になれます。

(<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/toshi/toshikeikaku/oshirase/toketu.html>)

さて、先程は中学生が敬老会で活躍をするというお話をいただきましたが、
皆様におかれましては小学校や中学校の行事に御参加をいただくなど、地域と
して学校を応援していただければありがたいと思っております。その結果とし

て、子どもたちもまた地域のために活動をするようになるのではないかと思いますし、是非これからは学校を中心とした地域づくりに重点を置いていただきたいと思っております。

また、これからの厳しい時代、子どもたちには非常に大きな重圧がかかってくることでしょう。そのときにめげたり道を誤ったりせず、素直にすくすくと育っていけるような、そんな環境を地域の皆さんで作っていただければありがたいと思っております。将来、子どもたちが世界を小さく感じるような、そんな活躍のできる大人に育ててほしいと願うのは、私どもの共通の思いです。是非、これからも地域で子どもたちを見守り続けていただきたいと思っております。

本日は本当にありがとうございました。